

「平成30年度 千代田区立図書館業務計画書」についての質問

頁	項目	No.	質 問 等
P.1	目次		
		1	・千代田図書館と日比谷図書館の目次構成を統一できない理由はあるのか。
P.3	I 総論		
			[業務実施基本方針]
			3)区民の書齋としての蔵書の充実と環境の見直し・整備
		2	・千代田図書館資料収集計画に基づき…とあるが、「千代田区立図書館 資料収集計画」を修正することは考えていないのか。
		3	・区民登録率ほどの程度か。現在の区民登録率は十分と考えているか。区民登録率を高める取り組みについて考えているか。
		4	・区民利用者が、図書館内で知人とあった際に会話ができるスペースは考えられないか。
		5	・区民の図書館利用初心者が、気軽に訊けて手助けしてくれる窓口などの制度的なシステムはできないか。
		6	・昨年の図書館HP公開停止の影響で、貸出冊数がかなり減少したようだが、新システム導入後の貸出冊数は元に戻っているのか。利用回復のための対応は考えているのか。
		7	・新刊書籍の配架時期がもう少し早くなならないのか。他の区立図書館の中でも最も遅いように感じている。
		8	・平成29年3月に導入された新システムのわかりやすい提供とは、具体的にはどんなことか。予約した際の受取り館と連絡方法など、システム利用方法が一部改善されているが、改善内容を日比谷図書館文化館の職員は十分に把握できていなかった。利用者に対して館内OPACの利用方法などについて、どう解説していくか、その方法を検討していく必要があるように思う。
		9	・ヤングアダルトの蔵書は、十分とはいえない。テーマを決めて、一定時期ごとに見せていくような工夫も考えられると思う。
			5)ファミリーフィールド
		10	・開架の児童書を元直し、収蔵図書の内容を元直しを図るとは、具体的にどのようなことを考えているのか。千代田図書館の児童書の蔵書は、他の区立図書館と比較して貧弱であるがその点をどう認識しているか。
P.4	千代田区立図書館組織図		
		11	・組織図がわかりやすく改善されたと思う。
		12	・組織図には、ちよだパークサイドプラザ区民図書室とMIWは含まれていないが、指定管理者の運営対象ではないということか。 ・千代田区図書館のホームページにおいて、ちよだパークサイドプラザとMIWについても、リンクではなく、開館時間などの情報を示したほうが利用者に親切ではないか。選書や行事等で連携を図っていった方がよいと思われる。
P.5	II 千代田図書館 事業計画		
			◆図書サービス部門
			1)資料収集・管理
		13	・9月に実施した蔵書点検の状況や結果報告をして欲しい。
			2)レファレンスサービス
		14	・新システムでの商用オンラインデータベース内容の習熟・活用とは、具体的にはどのようなことを考えているのか。
		15	・千代田図書館と日比谷図書館文化館では、商用オンラインデータベースの利用者の使用時間や回数で扱いが異なるが、見直すことは考えていないのか。
		16	・パスファインダーの更新による内容の充実と新規作成とあるが、平成30年度の実績は。 ・パスファインダーの利用状況は、どの程度か。 ・パスファインダーで利用が多いものは、例えば、初級、中級、上級というように、レベルを分けて作成するなどの対応は考えていないか。
		17	・商用オンラインデータベースや国立国会図書館デジタル化送信サービスについて、内容や利用方法などを紹介してもよいのではないか。
			3)各種図書サービス
			①予約サービス
		18	・予約サービスそのものを本格的に再検討する予定はないのか。他の区立図書館と予約サービスがまったく異なっていることが一番の問題。

頁	項目	No.	質 問 等
		19	・新刊書籍について、発売後 3 か月は予約できないというのは改善できないか。利用者ニーズの把握の点でも大切なことではないか。
		20	・千代田区内図書館に所蔵していない資料は、相互貸借ではなく購入という選択肢は考えられないのか。
		21	・予約冊数制限を多くすることを検討する予定はないのか。
		②電子図書館サービス	
		22	・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用拡大の方策は何か考えていないのか。
		23	・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス”のプリントサービスを開始する予定はないのか。
P.6		24	・国立国会図書館「歴史的音源」のサービスを提供について、インターネット席での利用のみですが、江戸川区図書館のように公開音源で聞けたり、登録者用にWEB利用することができるようになるか。
		3)各種図書サービス	
		③ビジネス支援サービス 4行目	
		25	・「配架」は、「排架」ではないか。
P.7		⑦障害者サービス	
		26	・視覚障害者の方の利用増とのことですが、現状がどうなっていて、今後どのように対応する予定なのでしょう。また、目に見える部分での改善などはあるのか。
		⑧高齢者サービス	
		27	・「かがやきプラザ」との連携の進捗状況を教えてほしい。
		28	・高齢者にとって千代田図書館は利用しにくいとの声を聞いた。高齢者のニーズを汲みとり、日常の運営で何か工夫ができないか。
		29	・高齢者向けのイベントの場で、高齢者の図書館利用促進のための取り組みはできないか。
P.8		◆事業企画部門	
		1)企画展示	
		③古書店連盟連携展示と購入案内	
		30	・実際にどれ位の購入実績があるのか。
		31	・同様の展示では、区内の他の業界の会社を紹介するようなことはないのか。
		2)セミナー・イベント	
		③その他のセミナー・イベント	
		32	・東京オリパラへの取り組みについて、詳しく教えてほしい。千代田区ならではの特徴などはあるのか。
		33	・皇居等に連日来ている観光客は、千代田図書館に情報を求めて来ることはあるのか。
P.11		◆読書振興センター	
		3)読書振興に関わる情報収集と発信	
		①子供読書調査	
		34	・「第2次千代田区子供読書活動推進計画」の最終年として、平成29年度に上昇した不読率の原因は模索できたのか。親子参加イベント「ヨムキョウちよだ」や夏のわくわく課外授業は不読率改善にどのくらい効果があったのか。
		②「ちよびた」ブログ	
		35	・近隣情報、イベントやコンシェルジュの情報掲載がどのくらい認知されているかアクセス数を教えてほしい。
P.12		◆コンシェルジュ部門	
		36	・多様な利用者に対する接遇力の習熟とは、具体的にどのようなことか。
		1)図書館総合案内	
		37	・2020年東京オリンピックパラリンピックに向けて、海外からの来館者対策はどのように考えているのか。(禁帯出本や高価な研究資料などもあるため防犯上も気になる。)
P.13		◆システム部門 (日比谷図書文化館 P.23 8)職員研修	
		38	・千代田区立図書館5館の情報セキュリティー体制の運用とは、どのようなものか。ISO等の取得を行うのか。

頁	項目	No.	質 問 等
P.14			◆総務部門
			1)管理・運営
			③総務担当における管理業務
	39		・図書館実習生の受け入れとはどのような内容か。
P.15			3)利用者満足度調査の実施
		40	・平成29年度の回収率において、千代田図書館は、第1回 51.2%、第2回 37.4%、日比谷図書文化館は、第1回 40.4%、第2回 37.8%、四番町図書館は、84.5%となっており、館により回収率にかなりの差があるが、回収方法が違うのか。回収率が低いと来館者の分析がしにくくなり、ニーズに対応できかねないのではないか。
			4)活動報告書の作成（日比谷図書文化館 P.23 6)活動報告書作成）
		41	・活動報告書では各種の統計数値が掲げられているが、もうすこし詳細な統計数値を示せないか。
P.16			6)職員研修
		42	・公共図書館における司書の専門性、千代田区立図書館における司書の専門性ということを検討のうに“職員研修”は計画されなくてはならないのではないか。
		43	・職員の能力向上は、制度的な保障がとても重要であると考えている。日々の利用者へのサービスで感じた問題点を率直に表現でき、そうしたことが実際に日々改善されていくという実感がなければならぬでしょう。そうしたことは配慮されているのか。
		44	・能力向上について、制度的な身分、あるいはある種のキャリアパスが示されている必要があるが、こうした点についての対応は取られているのか。
			III 日比谷図書文化館 事業計画
			◆図書サービス部門
			2)各種図書サービス
	45		・コーナーごとの企画展示、パネル展示や、アート情報関連も他地区の美術館情報などの情報量も増え、特色が出てわかりやすくなったように感じる。2Fパープルゾーン奥の文化財、博物館、太田道灌コーナーには禁帯出の本が多くあるが、職員の目が届きづらい場所になっており、盗難や切り抜き等防犯上の被害は出ていないのか。
			②資料の提供について
	46		・日比谷図書文化館では雑誌の貸し出しをしていないため、日比谷図書文化館でしか所蔵していない雑誌の場合、相互貸借もできないが、利用している別の図書館でも読めるようにできないか（その際は館外貸出はできなくてもよいかもしれない）。
	47		・日比谷図書文化館では、所蔵資料の配置場所が色別のゾーンで示されているが、わかりにくいので、せめて階数の表示を追加してプリントできないか。
P.17			3)資料収集・管理
			①資料収集について
	48		・「アメリカンセルフ」は米国大使館と連携しているが、区内大使館の資料受入れの連携はあるのか。
P.18			◆事業企画部門
			1)特別展の取組(ミュージアム業務)
		49	・「大正 イマジリー展」において、東京ステーションギャラリーとの連携でどのくらいの相乗効果があったのか(東京ステーションギャラリーと日比谷文化館の来館動員数、関連書籍の貸出数、ショップなどでの関連グッズの販売があれば増加につながったかどうか) ・図書館・美術館共に相乗効果が確認されたのであれば、地域の書店や商店街とも連携がとれる方向で千代田区地域の活性化になるよう更なる進化をとげてほしい。
P.19			3)特別研究室
		50	・H29年度 千代田区立図書館年報 P.34の特別研究席利用者、特別研究室入室者数から、良い企画展示や、サービス環境が良ければ、有料であっても利用者増加(H29年度活動報告書により20%増)につながる事が証明がされたので、収益増加に伴い更なるサービス向上へとつなげてほしいと思う。
			②既存企画の課題と方向性
	51		・「モーニングセミナー」は、現在スタジオプラスで開催しているのか。
P.20			⑤蔵書の修復
		52	・たとえ高価な古書であっても「活用保存」とのことですが、将来的に文化財になるような資料はないのか選別や活用の仕方が気になる。

頁	項目	No.	質 問 等
			5) 日比谷カレッジ
		53	・収入の予算で昨年度12,130,863円に対し、今年度7,742,570円と大幅に減少している原因は何か。来館者ニーズにこたえられているのか。
		54	・日比谷カレッジにおける区民受講者の割合はどの程度か。また区内在学者、在勤者の割合はどの程度か。
		55	・区民に対して受講料の割引等で利用しやすくしているが、講座内容で、区民、特に高齢者に対しての講座についてどの程度意識しているか。
P.21			◆広報営業部門
		56	・H29年度千代田区立図書館年報 P.68 の情報入手手段において、HPが64%とWEB広報の重要性は感じますが広報誌ポモーンが3.7%と周知されていないようですが効果的な方法への見直しはどのようにされたのか。
		57	・H29年度活動報告書P.56 の文化財講座(区主催)「万世橋地域の指定文化財」の参加人数3名(全2回)は広報不足か人数の間違いか。
			◆総務経理部門
P.23			6) 活動報告作成
		58	・千代田図書館(日比谷図書文化館?)は、千代田区外の方の利用が多いが、特に区民がどの程度利用しているか、そうした数値は示せないのか。
			8) 職員研修
		59	・P.16の千代田図書館の研修内容と大分違うのは何故か。
P.25			◆レストラン、ショップ & カフェ
		60	・18時以降のディナータイムにおいて、図書館貸出カードの提示によりコーヒーのみ100円引きになっているが、区民割引や特別展入場券提示などで、他のドリンクも100円引きなど利用しやすいようなサービスも考えていただきたい。 ・昨年予算より500,000円収入増を見込んでいるが、レストラン、ショップ、カフェの売上は、昨年度よりそれぞれどのくらいアップしているのか。
P.26			IV 四番町図書館 事業計画
		61	・「日本だけでなく外国への関心を高める活動も続けていきます。」とあるが、千代田図書館で海外の図書館などと提携や連携をしているところはあるのか。
		62	・建替えに関してのスケジュールは決まったのか。
P.28			V 昌平まちかど図書館、神田まちかど図書館 事業計画
		63	・書籍消毒器(ブックシャワー)を検討していただけたら予定だったが、30年度支出に入っていないがどうなったのか。

頁	項目	No.	質問等
P.1	平成30年度 千代田図書館資料収集計画		
		64	・“千代田区立図書館5館の分担収集を踏まえつつ”とあるが、分担の詳細はどこかに示されているのか。
		65	・出版関連資料も古い資料は除籍するのか。
		【一般図書】	
		66	・0類の“02 図書、書誌学”と“07 ジャーナリズム、新聞”は、出版とも関連があるが、どのように扱うのか。重視していないのか。
		67	・2類の“29 地理、地誌、紀行”、なかでも旅行案内書は要望の高い本だと思われるが、どのように考えているのか。
		68	・3類では、“33 経済”について言及がないが、ビジネス関連書と一般の棚に配架する経済書の区別は、どのように考えているのか。
P.2		69	・4類は、45と49しか示していないが、他の区分は、どのように扱うのか。
		70	・5類では要望の高い、“59 家政学、生活科学”など、は、どのように考えているのか。
		71	・6類では、“69 通信事業”しか言及がないが、他の区分は、どう考えているのか。“62 園芸、造園”など、要望が多いのではないか。
		72	・7類は、千代田図書館と日比谷図書館文化館との分担はどう考えているのか。また、“74 写真、印刷”は、出版との関連が高いので、千代田図書館でも所蔵する必要性が高いと思われるが、その扱いはどうなっているのか。
		73	・8類では、語学学習のための資料は要望が高いと思われるが、個人で購入してもらおうと考え、購入しないのか。
P.3		【ビジネス資料】	
		74	・“ビジネス4(出版、著作権)”では、著作権についてしか言及がないが、出版関連書は、どう考えているのか。
		75	・“雑誌”と“新聞”についての言及がないが(日比谷図書館文化館では言及がある)、どのように考えているのか。“千代田区立図書館資料収集方針”で方針が示されているから、それでよいとするのか。そうであったとしても、5館でのバランスをどうとるか、その計画は必要でしょう。(この項は、他の図書館とも共通します)
		76	・“文庫”と“新書”については、別途に方針を考えた方が望ましいが、どう考えているのか。特に“文庫”では単行本を所蔵している場合の扱いは、どう考えているのか。(日比谷図書館文化館では“文庫”と“新書”について記載あり。)
		77	・千代田図書館の児童書については、他の区立図書館と比較して、蔵書数でかなり劣っているが、どのように認識しているのか。どういう特徴を出していくのか。
		平成30年度 日比谷図書館文化館資料収集計画	
		【一般図書】	
P.6		78	・一般書については“厳選して収集する”とあるが、千代田図書館と日比谷図書館文化館での差異は、あまり感じられない。千代田図書館と日比谷図書館文化館の分担収集はどうなっているのか。日比谷図書館文化館としての一般書の資料収集計画は、もう少し詳しく示される必要があるように思います。
P.8	平成30年度 四番町図書館資料収集計画		
		79	・“文庫”と“新書”については、別途に方針を考えた方が望ましいが、どう考えているのか。
		80	・偕成社の“偕成社文庫”が、他の区立図書館に比較すると、かなり少ないが(千代田図書館も同様)、これは何か理由があるのか。講談社の“青い鳥文庫”(千代田図書館の所蔵が極端に少ないので、千代田区全体としての所蔵が少ない)や、筑摩書房の“ちくまプリマー新書”も他の区立図書館に比較するとやや少ない。
P.9、P.10	平成30年度 昌平まちかど図書館及び神田まちかど図書館資料収集計画		
		81	・昌平まちかど図書館と神田まちかど図書館は、共通する部分と、やや異なる部分があると思われるが、それが、この計画ではよくわからない。
		82	・“雑誌”と“新聞”についての言及がないが(日比谷図書館文化館では言及がある)、どのように考えているのか。
		83	・“文庫”と“新書”については、いくらかの言及があるが、ここで説明されている範囲ではよくわからない。
		84	・昌平まちかど図書館と神田まちかど図書館は、蔵書冊数が少ない小規模図書館です。こうした図書館での蔵書はどうあればよいのか、どんな蔵書構成にすればよいのか、そうした検討を十分に行ったうえで選書計画だと思えます。そうした検討をしたうえで選書計画を立てる必要があるように思います。

頁	項目	No.	質 問 等
			図書館システムに関するご意見
		85	・現在は、館内 OPAC も Web OPAC も 1 か月単位でしか新着図書の内容が確認できないが、以前のように1 週間、あるいは 2 週間単位など選択して内容確認できるようにならないか。
		86	・館内OPAC で予約を完了した直後にマイページで予約内容を確認するためには、あらためてID とパスワードを入力しないとイケない。
		87	・館内OPAC の起動直後の画面が全面表示になっていない。
		88	・予約カートを経由しないと予約ができないのは、予約カートを使いたくない人にとっては不便である。
		89	・検索の際、書籍と雑誌では“タイトル”の扱いが異なり、わかりにくい。
		90	・検索の際、応用範囲が広い“キーワード”の項目が初期値(デフォルト値)で表示されていない。
		91	・ある館で禁帯出、別の館では貸出可能の図書があった場合、貸出可能の図書が貸し出されていたときには、検索一覧での表示が“禁帯出”となるが、ここは“貸出中”の方が利用者にとって親切であろう。
		92	・検索した“内容詳細”で日本人の“著者名”に“読み仮名”が表示されないのは、不親切である。
		93	・雑誌の“雑誌タイトル”で検索した場合、個々の雑誌を表示し、そこから“巻号一覧”に戻りたいときのボタンが、画面上部では“検索結果一覧”と“巻号一覧”のボタンがあるのに対し、画面なかほどのボタンは“一覧へ戻る”ボタンだけであり、この“一覧”の意味は、上記のいずれかが不明である(“検索結果一覧”と同じ機能であり、“巻号一覧”に戻りたい際に、つい、このボタンを利用するとやり直しになる)。